

2017年5月16日(火) ハコラク6月号 掲載

医療の現場から『医療機器・スタッフ・患者様を繋ぐ架け橋 臨床工学技士の仕事』

医療機器管理室 秋本 大輔 業務担当係長(臨床工学技士)

医療の現場から

医療機器・スタッフ・ 患者様を繋ぐ架け橋 臨床工学技士の仕事

函館中央病院 医療機器管理室

業務担当係長 臨床工学技士 **秋本 大輔**さん



医療技術は「日進月歩」で変化しています。それに伴い医療機器も進化を続け、今からちょうど30年前には専門的に医療機器を操作、管理をする国家資格が誕生しました。それが「臨床工学技士」という職業です。この場をお借りして、少しでも我々の仕事を紹介させていただきます。

臨床工学技士法では、「医師の指示の下、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行う事を業とする医療機器の専門職種」となっています。多種存在する医療技術職の中でも「臨床」と「工学」の二面性を持った職業は珍しいかもしれません。当院には13人の臨床工学技士が働いて

いますが、外来や一般病棟で直接患者様に関わることはほとんどありません。手術室や集中治療室、透析室や検査室など、特に医療機器が多い場所が我々の職場となります。

例えば手術室では心臓の手術を行っています。心臓の弁などを治療する場合、一旦動きを止めなければなりません。その間、我々は「人工心肺装置」を使って全身の血液循環を維持することで、患者様の身体を保護しサポートしています。人工心肺のモーターは、「手術前と変わらない全身状態で手術を終える」ことです。実際の手術や麻酔は医師が行いますが、我々はチーム医療の一員として安全な手術を行えるよう日々研鑽しています。

また、集中治療室などには人工呼吸器が必要な患者様がいます。命を守る大事な機械がもし壊れてしまつたら…、もし使い方を間違えたら…。そうならないよう私たちは、様々な医療機器を管理し、必要であれば医師・看護師に向けた勉強会も開催します。今回はごく一部しか紹介できませんでしたが、今後もチーム医療の一員として、また医療機器スタッフ―患者様を繋ぐ架け橋となれるよう、我々もまた「日進月歩」していきたいと思えます。



函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyo.com/>

■診療科目/内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全24科目

■受付時間/8:30~11:30、13:30~16:00*土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。

■休日/日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)